

**事業実施内容** 2025年10月12日～10月18日 5泊7日

**事業の目的：**  
インドの優秀な理系人材の雇用検討と、人材交流を目的とした現地学生との交流機会を創出する



- 実施内容：**
- JASA 会員企業14社、総勢22名 が参加
  - 戦略的に選定した 3都市、大学4校 を訪問
    - デリー : AMITY University
    - チェンナイ : VIT (Vellore Institute of Technology Chennai)  
CIT (Chennai Institute of Technology)
    - ベンガルール : SIT (Siddaganga Insitute of Tchnology Tumkur)
  - 日本の組込み産業の魅力やキャリアパスを発信するプレゼンテーションおよび、現地学生との個別面談や交流会を実施

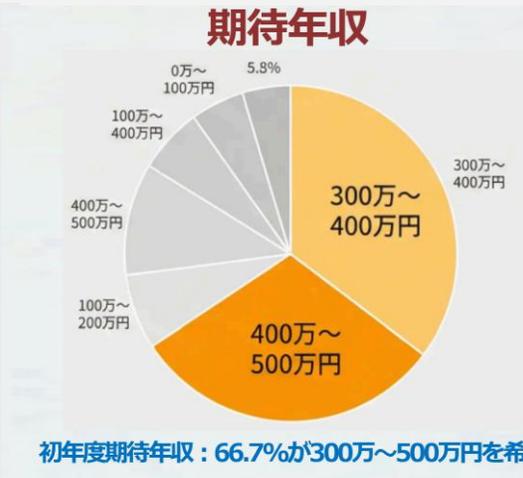
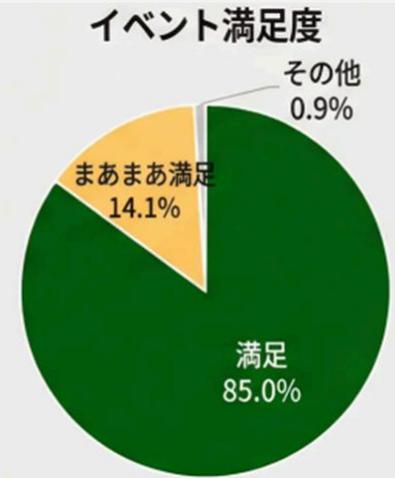


Tier-1下位からTier-2上位の学生は高いポテンシャルを有す



**事業成果**

- 学生とのコンタクト数（アンケート回答数）：**573名**（男性 390名 / 女性 183名）
  - 日本に対する極めて高い関心：
    - ✓ 日本企業での**インターンシップ**に対して **88.5%** の学生が「非常に興味あり」と回答。
    - ✓ 交流イベントの満足度は「満足（85.0%）」「まあまあ満足（14.1%）」を合わせて **99%以上** となり、参加動機の **半数以上（54.0%）** が「日本での就職・生活への興味」を持つ結果となった。
- 南部の都市：チェンナイが最も日本への関心が高いと実感できた。**



- 主な懸念点**
- 言語の壁  
“日本語N5レベルしかない事が心配”
  - 労働文化への適応  
“ワークライフバランスが気になる”
  - 生活費・住居  
“住居の確保が心配”

**今後の雇用計画**

